



あいちトリエンナーレ2013
オープンアーキテクチャー 連携企画 ②

南山大学 アントニン・レーモンドの 建築探訪

Open Architecture
Walk in Nanzan University

コース：
正門 / 本部棟 / 図書館棟 / G30棟 / G棟 / 体育館 / グリーンエリア など

2013年10月6日(日) 13:30 - 16:30

集合場所 / 南山大学名古屋キャンパス 山手通門付近
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 (地下鉄名城線「名古屋大学駅」下車徒歩8分)

定員 / 25人 ※要事前申込・応募多数の場合抽選

参加費 / 無料

主催 / クリエイティブ・デザインシティなごや推進事業実行委員会 共催 / あいちトリエンナーレ実行委員会 協力 / 南山大学



※状況によっては終了時間が延びる可能性があります。
※起伏のあるキャンパス内を巡りますので、歩きやすい服装でご参加下さい。

問い合わせ先 /
クリエイティブ・デザインシティなごや推進事業実行委員会
〒460-0008 名古屋市中区栄3-18-1 デザインセンタービル6階 Tel 052-265-2105
<http://www.creative-nagoya.jp>

 
City of design NAGOYA
Member of the UNESCO
Educational, Scientific and
Cultural Organization since 2008
名古屋はユネスコが認定するデザイン都市です

アントニン・レーモンド

ボヘミア地方グラドノ（現在のチェコ共和国）生まれ。1919年、近代建築三大巨匠のひとり、フランク・ロイド・ライトの助手として帝国ホテル建設のために来日。その後1973年に85歳で日本を去るまで、第二次世界大戦前までの18年間と戦後の26年間のあわせて44年間を日本に滞在し、自然と風土に根ざした実用的で美しい建物を作り出した建築家として知られている。また、日本独自のモダニズム建築を確立した建築家・前川國男や吉村順三から師と仰がれた。

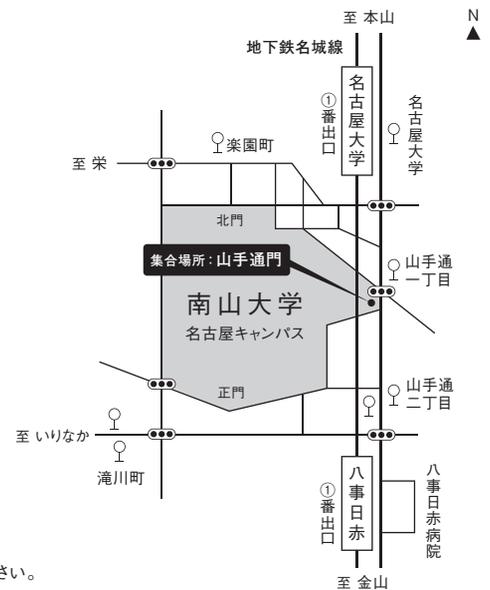
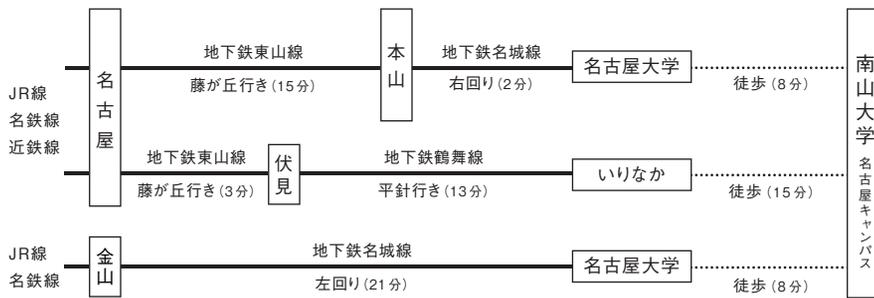
妻のノエミ・レーモンドは家具などのデザイナーであり、民藝運動の創始者・柳宗悦をはじめ当時のすぐれた芸術家、思想家と親交をもったレーモンド夫妻は、日本の暮らしの中に生きる美、日本独自の伝統的な空間と生活の価値を深く理解した。南山大学における床のパターンや家具の一部は主にノエミによる。

代表作：

東京女子大学礼拝堂、国際基督教大学図書館、群馬音楽センター、新発田カソリック教会、南山大学総合計画・神言神学院



[交通アクセス]



[応募方法]

以下の項目をご記入の上、E-mailまたはFaxでご応募ください。

※E-mailでご応募の場合は、件名を「南山大学アントニン・レーモンドの建築探訪」として下記の内容をお送りください。

※1応募あたり2人まで、応募多数の場合、抽選

E-mail / at2013oa@creative-nagoya.jp

Fax / **052-265-2107**

◎応募受付

2013年9月21日(土) 必着

Fax 申込書

あいちトリエンナーレ2013 オープンアーキテクチャー 連携企画 ② 南山大学 アントニン・レーモンドの建築探訪		ふりがな			
参加人数		人	お名前(代表者)	年齢	歳
ご住所 (〒 -)		ご所属先(会社名、学校名、職業など)			
Tel		Fax		E-mail	

※ご提供いただいた個人情報は、申込受付管理に使用するほか、主催者および国際デザインセンターからご案内を差しあげることがあります。第三者には提供いたしません。国際デザインセンターの「個人情報保護方針」は、www.idcn.jp/privacyでご覧いただけます。